

1.	①	11.	①	21.	③	31.	①	41.	④
2.	③	12.	④	22.	②	32.	①	42.	②
3.	②	13.	②	23.	④	33.	②	43.	①
4.	④	14.	④	24.	③	34.	②	44.	③
5.	③	15.	③	25.	③	35.	④	45.	③
6.	④	16.	①	26.	②	36.	①	46.	③
7.	②	17.	③	27.	③	37.	②	47.	①
8.	②	18.	④	28.	①	38.	②	48.	②
9.	④	19.	①	29.	④	39.	②	49.	①
10.	④	20.	④	30.	④	40.	④	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

「moreover」は、前に述べた事柄に加えて、さらに情報を付け加えるときに使う接続副詞で、「その上」「さらに」という意味です。文と文をつなぐ働きをします。したがって正解は①です。②「しかしながら」は逆の内容を述べるときに使う **however** などが相当します。③「したがって」は原因と結果の関係を示す **therefore** などが当てはまります。④「たとえば」は具体的な例を挙げるときに使う **for example** などが相当します。このように、文と文の関係性を示す接続副詞は、それぞれ意味がはっきり違うので、正確に覚えておきましょう。

◆補足：「moreover」は少し硬い表現で、書き言葉でよく使われます。同じ「その上」という意味で、より口語的な表現には「in addition」や「besides」「furthermore」などがあります。例文: The book is interesting. Moreover, it is easy to read. (その本は面白い。その上、読みやすい。)

2.

解答 ③

【解説】

正解は③の`costume`で、「(特定の時代・場所・行事などの) 衣装、服装」を意味します。ハロウィーンの「仮装」や、劇の「衣装」、民族衣装などを指します。`All the actors were in historical costumes.` (俳優たちは皆、歴史的な衣装を着ていた)。他の選択肢は、①`custom`が「習慣、風習」で、つづりが似ているので注意が必要です。②`clothing`は一般的な「衣類」、④`uniform`は「制服」という意味です。

◆補足：`a Halloween costume` (ハロウィーンの仮装)、`a national costume` (民族衣装)。`a costume party`は「仮装パーティー」です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「関係、関連」です。`relation`は、二つ以上の人や物事の中の「つながり」を意味する名詞です。`There is a close relation between smoking and lung cancer.`（喫煙と肺がんの間には密接な関係がある）。①「宗教」は`religion`、③「地域」は`region`、④「理由」は`reason`です。

◆補足：`relationship`も「関係」と訳されますが、`relationship`がより個人的で感情的な「人間関係」を指すことが多いのに対し、`relation`はより公式で客観的な「関係」を指す傾向があります。複数形の`relations`は「(国家間などの) 関係」を意味します。`international relations`（国際関係）。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「永遠に、永久に」です。`forever`は、終わりなく、いつまでも続くことを表す副詞です。`Some people believe that diamonds are forever.`（ダイヤモンドは永遠だと信じている人もいる）のように使います。①「時々」は`sometimes`、②「すぐに」は`soon`や`immediately`、③「ほとんど」は`almost`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`forever`は`for ever`と2語で書かれることもあります（特にイギリス英語）。`It feels like I've been waiting forever.`（永遠に待っているような気分だよ）のように、非常に長い時間であることを強調するために、少し大げさに使われることもよくあります。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「100万」です。`million`は、1,000,000を示す数の単位です。`The population of the city is approximately one million.`（その都市の人口は約100万人だ）。①「1000」は`thousand`、②「10億」は`billion`、④「百万長者」は`millionaire`です。

◆補足：`million`を使うとき、`five million dollars`（500万ドル）のように、前に他の数字が付いても複数形の`s`は付けないのが基本です。ただし、`millions of dollars`（何百万ドルものお金）のように、漠然と「多数の」という意味で使う場合は`s`を付けます。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④の`invention`で、「発明、発明品」を意味します。それまで存在しなかった新しい物や方法を創り出すこと、またその創り出されたものを指します。`The invention of the telephone revolutionized communication.`（電話の発明はコミュニケーションに革命をもたらした）。他の選択肢は、①`invitation`が「招待」、②`investment`が「投資」、③`convention`が「大会」や「慣習」という意味です。

◆補足：`invention`は動詞`invent`（～を発明する）の名詞形です。発明家は`inventor`です。`Necessity is the mother of invention.`（必要は発明の母）は有名なことわざです。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②「伝統的な」です。`traditional`は形容詞で、昔からその社会や文化で受け継がれてきた考え方、食べ物、服装、行事などを説明するときに使います。`Many people wear traditional costumes during the festival.`（多くの人々がその祭りの間、伝統的な衣装を身につける）。①「国際的な」は`international`、③「個人的な」は`personal`、④「現代的な」は`modern`で、`traditional`の対義語にあたります。

◆補足：この単語は、名詞の`tradition`（伝統）に`-al`がついて形容詞になった形です。このように、単語の成り立ちを知ると、語彙を効率的に増やすことができます。`tradition`（名詞）と`traditional`（形容詞）をセットで覚えましょう。

8.

解答 ②

【解説】

正解は②の`information`で、「情報、知識、知らせ」を意味します。事実やデータ、ニュースなど、伝えられる内容全般を指す非常に重要な単語です。`This website provides useful information for tourists.`（このウェブサイトは観光客向けの役立つ情報を提供している）。他の選択肢は、①`instruction`が「指示、取扱説明書」、③`invention`が「発明」、④`impression`が「印象」という意味です。

◆補足：`information`は、英語では数えられない名詞（不可算名詞）として扱われる代表例です。そのため、`an information`や`informations`という形にはなりません。「一つの情報」と言いたい場合は`a piece of information`のように数えます。動詞形は`inform`（～に知らせる）で、`inform 人 of/about 物事`の形で使われます。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「～より多い、～以上」です。`more than ～`は、数や量、程度を比較する際に使う表現です。`more`が「もっと多い」という意味を持つことを知っているとは分かりやすいですね。`The journey took more than three hours.`（その旅は3時間以上かかった）。①「～より少ない」は`less than ～`、②「～とちょうど同じ」は`exactly the same as ～`など、③「～のほとんど」は`most of ～`を使います。

◆補足：`more than`は、単に数量が多いことだけでなく、`She is more than just a colleague to me.`（彼女は私にとって単なる同僚以上の存在だ）のように、程度が上であることを示す比喩的な意味でも使われます。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「いたずら、たくらみ、手品」です。名詞の`trick`は、人をだますための「策略、たくらみ」や、子供じみた「いたずら」、観客を楽しませる「手品、芸当」など、複数の意味を持ちます。`He taught me a simple card trick.`（彼は私に簡単なカードの手品を教えてくれた）。①「走路」は`track`、②「トラック」は`truck`、③「厚い」は形容詞の`thick`です。

◆補足：動詞の`trick`は「～をだます」という意味です。`He tricked me into believing his story.`（彼は私をだまして彼の話を信じ込ませた）。ハロウィーンの決まり文句`Trick or treat!`（お菓子をくれないと、いたずらするぞ!）で馴染み深い単語ですね。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「（時間・お金）を費やす」です。動詞の`spend`は、時間やお金を何かの目的のために使うことを表します。`I spent three hours finishing my report.`（私はレポートを仕上げるのに3時間費やした）。`She spent a lot of money on clothes.`（彼女は洋服にたくさんのお金を使った）。②「～を節約する」は`save`、③「～を稼ぐ」は`earn`、④「～を浪費する」は`waste`です。これらはお金や時間に関する重要な動詞なので、意味の違いをしっかりと区別しましょう。

◆補足：`spend + 時間 + -ing`の形で「～して時間を過ごす」という構文は非常によく使われます。`He spent the weekend relaxing at home.`（彼は週末を家でリラックスして過ごした）。`spend`の活用は`spend - spent - spent`と不規則に変化する点にも注意が必要です。

12.

解答 ④**【解説】**

正解は④「休憩、休息、残り」です。名詞の`rest`は、主に二つの意味があります。一つは、仕事や運動などから解放された「休憩、休息」です。もう一つは、`the rest of ~`の形で「~の残り、その他全部」です。`Let's take a short rest.`（少し休憩しましょう）。`I'll finish the rest of the cleaning later.`（残りの掃除は後で終わらせます）。①「リスト」は`list`、②「抵抗」は`resistance`、③「家賃」は`rent`です。

◆補足：`rest`は動詞として「休む、休憩する」という意味でも使われます。`You've been working too hard. You need to rest.`（あなたは働きすぎだ。休む必要がある）。`restroom`（お手洗い）もこの`rest`から来ています。

13.

解答 ②**【解説】**

正解は②の`pray`で、「祈る」という意味の動詞です。神や超越的な存在に対して、願い事をしたり、感謝したり、あるいは礼拝したりすることを表します。`They prayed for the safety of the missing hikers.`（彼らは行方不明のハイカーたちの安全を祈った）。他の選択肢は、①`play`が「遊ぶ」、③`prey`が名詞で「餌食」、④`pay`が「支払う」という意味です。`pray`と`prey`は発音が同じ同音異義語なので、文脈での判断が重要です。

◆補足：名詞形は`prayer`（祈り）です。`say a prayer`で「祈りをささげる」となります。

14.

解答 ④**【解説】**

正解は④の`collection`で、主に二つの意味があります。一つは、切手や美術品、データなどの「収集、コレクション」です。もう一つは、ゴミや税金、寄付金などの「回収、徴収」です。`He showed me his impressive stamp collection.`（彼は私に素晴らしい切手のコレクションを見せてくれた）。`The garbage collection day is Tuesday.`（ゴミの収集日は火曜日だ）。他の選択肢は、①`correction`が「訂正」、②`selection`が「選択」、③`connection`が「関係、接続」という意味です。

◆補足：`collection`は動詞`collect`（~を集める）の名詞形です。`a collection of poems`（詩集）。

15.

解答 ③**【解説】**

正解は③「腹が痛い」です。`have a stomachache`は、「腹痛がする」という意味の表現です。`stomach`（胃、腹）と`ache`（痛み）が組み合わさった単語です。`I think I ate something bad. I have a terrible stomachache.`（何か悪いものを食べたみたいだ。ひどい腹痛がする）。①「頭が痛い」は`have a headache`、②「歯が痛い」は`have a toothache`、④「背中が痛い」は`have a backache`です。

◆補足：`-ache`は「痛み」を表す接尾辞で、体の部位を表す単語と結びついて様々な痛みを表現します。このパターンを覚えておくと、語彙を増やすのに役立ちます。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「役に立たない」です。`useless`は形容詞で、`useful`（役に立つ）に、否定を表す接尾辞`-less`（～がない）が付いた形です。「使い道がない」というのが元々の意味で、目的を果たさなかったり、何の価値もなかったりする物事に対して使われます。`It is useless to argue with him.`（彼と議論しても無駄だ）。②「役に立つ」は`useful`で、`useless`の対義語です。③「使用された、中古の」は`used`、④「珍しい」は`unusual`が適切な単語です。

◆補足：`-less`は「～がない」という意味を表す重要な接尾辞です。`careless`（注意がない→不注意な）、`homeless`（家がない）、`endless`（終わりが無い）など、多くの形容詞を作ります。このパターンを覚えておくと、知らない単語でも意味を推測しやすくなります。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「設備、機材、用具」です。`equipment`は、特定の活動や目的のために必要となる、機械、装置、道具類を集合的に指す名詞です。`The gym is new and has the latest equipment.`（そのジムは新しく、最新の設備を備えている）。①「環境」は`environment`、②「雇用」は`employment`、④「興奮」は`excitement`です。

◆補足：`equipment`は数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。そのため、`an equipment`や`equipments`という形にはなりません。「一つの機材」と言いたい場合は`a piece of equipment`のように数えます。動詞形は`equip`（～に備え付ける）です。`be equipped with`～で「～が備わっている」となります。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④の「頭痛」です。『headache』は、"head" (頭) と "ache" (痛み) という二つの単語がくっついてできた、とても分かりやすい言葉ですね。文字通り「頭の痛み」を意味します。このように、体の部分を表す単語に "-ache" を付けることで、その部分の痛みを表現する単語がいくつかあります。例えば、①の「腹痛」は "stomachache"、②の「歯痛」は "toothache"、③の「腰痛」は "backache" と言います。これらの単語は、日常生活や病院での会話などで非常に重要になるので、セットで覚えておくで大変便利です。体の不調を正確に伝えることは、海外での生活や旅行の際にも自分を守るために大切なスキルですよ。

◆補足：症状の強さを伝えるために、"a slight headache" (軽い頭痛) や "a terrible headache" (ひどい頭痛) のように形容詞を付けて表現することができます。また、風邪の症状などを説明する際には "I have a headache and a fever." (頭痛と熱があります。) のように、他の症状と組み合わせて使うことも一般的です。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「弁護士」です。`lawyer` は、法律に関する専門的な訓練を受け、依頼人に法的助言を与えたり、法廷で代理人を務めたりする法律専門家を指す一般的な言葉です。`If you have a legal problem, you should consult a lawyer.` (もし法的な問題を抱えているなら、弁護士に相談すべきだ)。②「法律」は `law`、③「低い」は `low`、④「忠実な」は `loyal` です。これらは発音やスペルが似ていて紛らわしいので、注意が必要です。

◆補足：`lawyer` は名詞の `law` (法律) に、人を表す接尾辞 `-yer` が付いてできた単語です。アメリカ英語では `attorney` という単語も「弁護士」として一般的に使われます。イギリス英語では、法廷に立つ弁護士を `barrister`、それ以外の法務を扱う弁護士を `solicitor` と区別することがあります。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「～から逃げる」です。`get away from ~` は、「～から逃げる、～から離れる」という意味の熟語です。物理的に場所から離れることや、比喩的に好ましくない状況や日常から離れることを表します。`He wanted to get away from the pressures of his job.` (彼は仕事のプレッシャーから逃れたかった)。①「～と仲良くやる」は `get along with ~`、②「～から降りる」は `get off ~`、③「～を通り抜ける」は `get through ~` です。

◆補足：`getaway` と一語になると「(短期の) 休暇、逃亡」という意味の名詞になります。`a weekend getaway to a hot spring resort` (温泉地への週末の小旅行)。

21.

解答 ③**【解説】**

正解は③の「最善を尽くす」です。この表現は、「自分の持っている力や能力を最大限に出して努力する、全力を尽くす」という意味で使われます。結果がどうであれ、その過程で一生懸命頑張るという姿勢を示す、非常にポジティブで大切なフレーズです。他の選択肢は、"best" という単語が使われていますが、意味が異なります。①「一番好きなことをする」は 'do what one likes best'。②「最高の気分である」は 'feel one's best'。④「一番上手にできる」は 'be the best at doing' や 'can do best' などで表現されます。これらの表現との違いをしっかりと理解しましょう。

◆補足：この熟語の "one's" の部分は、主語に合わせて "my", "your", "his", "her" などに変わります。例えば、主語が 'I' なら "do my best"、主語が 'she' なら "do her best" となります。この変化も重要なポイントです。例文: "I don't know if I can win, but I'll do my best." (勝てるかどうかは分からないけれど、最善を尽くします。)

22.**解答 ②****【解説】**

正解は②の 'play an important role[part] in ~' で、「～において重要な役割を果たす」という意味です。ある人や物が、特定の状況や出来事において、大きな影響力や貢献を持つことを表す定型表現です。'Volunteers play an important part in supporting the community.' (ボランティアは地域社会を支える上で重要な役割を果たしている)。他の選択肢は、① 'take part in' が「～に参加する」という別の熟語であり、③④は文法的に不自然な表現です。

◆補足：'role' の代わりに 'part' を使うことも可能です。また、'play a key role' (鍵となる役割を果たす)、'play a vital role' (不可欠な役割を果たす)、'play a significant role' (著しい役割を果たす) のように、'important' の代わりに他の形容詞を使うことで、ニュアンスを変えることができます。

23.**解答 ④****【解説】**

正解は④の 'anyway' で、「とにかく、いずれにせよ、ともかく」という意味の副詞です。前の発言の内容や状況に関わらず、本題に戻ったり、話題を変えたり、追加の情報を述べたり、あるいは単に文を終えたりする際に使われる便利な言葉です。'I'm not sure if it's the right decision, but I'll try it anyway.' (それが正しい決断かは分からないが、とにかくやってみるつもりだ)。他の選択肢は、① 'anywhere' が「どこでも」、② 'always' が「いつも」、③ 'almost' が「ほとんど」という意味です。

◆補足：'anyway' は文頭、文中、文末のいずれにも置くことができます。'I was tired, but I went to the party anyway.' (疲れていたが、それでもとにかくパーティーに行った)。'Thanks anyway.' は、相手の申し出を断った後などに「(でも) ありがとう」という気持ちを伝える定番の表現です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③の`see a doctor`で、「医者に診てもらう、診察を受ける」という意味の決まった言い方です。病气やけがの際に、専門家である医者や看護師などの専門家に診断や治療を受けることを表します。`You look pale. You should probably see a doctor.`（顔色が悪いですよ。医者や看護師に診てもらった方がいいでしょう）。他の選択肢は、①`meet a doctor`が「医者（に）（約束して、または偶然）会う」、②`look a doctor`は不自然な表現、④`watch a doctor`が「医者（の動き）を見る」という意味で、診察を受けるという意味にはなりません。

◆補足：`see`には「～に会う」の他に、医者や弁護士などの専門家に「相談する、診てもらう」という特別な用法があります。`If the problem persists, you should see a specialist.`（もし問題が続くようなら、専門医に診てもらってください）。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を飾る」です。`decorate`は、部屋や建物、ケーキなどを、より美しく、魅力的に見せるために「装飾する」という意味の動詞です。`They decorated the Christmas tree with colorful lights and ornaments.`（彼らはクリスマスツリーを色とりどりのライトや飾りで飾った）。①「～を宣言する」は`declare`、②「～を捧げる」は`dedicate`、④「～を減少させる」は`decrease`が適切な単語です。

◆補足：名詞形は`decoration`（装飾、飾り）です。`We put up Halloween decorations.`（私たちはハロウィーンの飾り付けをした）。インテリアを装飾する専門家は`an interior decorator`と呼ばれます。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「（費用）がかかる、（犠牲）を払わせる」です。動詞の`cost`は、お金や時間、労力などが「かかる、要する」という意味です。また、比喩的に、何かを得るための「（犠牲）を払わせる」という意味でも使われます。`This jacket cost me 10,000 yen.`（このジャケットは私に1万円かかった（＝1万円です））。`His mistake cost the team the game.`（彼のミスでチームは試合に敗れた）。

①「～に値する」は`be worth`、③「～を請求する」は`charge`、④「～を支払う」は`pay`です。

◆補足：`cost`の活用は`cost - cost - cost`と変化しないのが基本です（ただし「費用を見積もる」という意味では規則変化することもある）。名詞としても「費用、コスト」という意味で使われます。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③「筋肉」です。`muscle`は、体を動かすための組織である「筋肉」を意味する名詞です。

`Regular exercise helps to build strong muscles.` (定期的な運動は強い筋肉を作るのに役立つ)。①「博物館」は`museum`、②「音楽の」は形容詞の`musical`、④「口ひげ」は`mustache`です。

◆補足：`muscle`の`c`は発音しない黙字（サイレントレター）です。発音は「マッスル」となります。コロケーションとしては`sore muscles`（筋肉痛）や`pull a muscle`（肉離れを起こす）などがあります。形容詞形は`muscular`（筋肉の、がっしりした）です。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①の『yell』です。この単語は、特に「怒り」や「警告」、または「遠くにいる人に呼びかける」といった目的を持って、意図的に「大声で叫ぶ、どなる」という意味で使われます。問題文の「弟とケンカをして、怒りのあまり」という状況に最も適した単語と言えます。他の選択肢も確認しましょう。②の『talk』は、一般的な「話す」という行為を指します。③の『cry』は「泣く」という意味で、叫ぶのとは異なります。④の『reply』は「返事をする、応答する」という意味です。声を発するという点では共通していますが、その目的や感情が全く違いますね。『scream』が恐怖などによる甲高い「悲鳴」だったのに対し、『yell』はより意図的な「怒鳴り声」という違いを理解しておきましょう。

◆補足：『yell at someone』で「(人)に向かってどなる」という形でよく使われます。例文: "My father yelled at me for being late." (私は遅刻したことで父にどなられた。) 人を不快にさせることもある強い言葉なので、使う場面には注意が必要ですが、映画やドラマなどでは頻繁に登場する単語です。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④の「完全に、全く」です。『totally』は、「完全に、すっかり、全く」という意味で、形容詞や動詞、文全体などを強調する働きを持つ副詞です。`completely` とほぼ同じ意味で使うことができます。口語では、相手の意見に「全く同感だよ!」と強く同意する際に、"Totally!" と一言で返事をするような使われ方もします。他の選択肢は、それぞれ異なる度合いを表す副詞です。①の「部分的に」は`partially`。②の「時々」は`sometimes`。③の「ほとんど」は`almost` や `nearly` です。これらの程

度を表す副詞は、文の意味を正確に伝える上で非常に重要なので、それぞれのニュアンスをしっかりと理解しておきましょう。

◆補足：形容詞の 'total' (合計の、完全な) から派生した副詞です。例文: "I totally forgot about our appointment. I'm so sorry." (私たちの約束のこと、すっかり忘れていました。本当にごめんなさい。)
"The two situations are totally different." (その二つの状況は全く異なります。)

30.

解答 ④

【解説】

正解は④「歴史の、歴史に関する」です。`historical`は形容詞で、過去の出来事に関連していることを示します。`This movie is not a historical drama; it's a fantasy.` (この映画は歴史劇ではなく、ファンタジーだ)。①「歴史的に重要な」は`historic`、②「歴史家」は`historian`、③「歴史」は`history`です。これらはすべて`history`から派生した言葉ですが、意味や品詞が異なるので注意が必要です。

◆補足：`historical`と`historic`の使い分けが重要です。`historical`は単に「歴史上の」事実（`historical evidence` 歴史的証拠）を指すのに対し、`historic`はその中でも特に「歴史的に重要で画期的な」出来事や場所（`a historic speech` 歴史的な演説）を指します。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①の`search`で、名詞として「搜索、調査」、動詞として「(～を求めて) 探す」という二つの意味があります。`The search for the missing person continued for days.` (行方不明者の搜索が何日も続いた)。`He searched his pockets for his keys.` (彼は鍵を求めてポケットの中を探した)。他の選択肢は、②`research`が「(学術) 研究」、③`serve`が「～に仕える」、④`surf`が「サーフィンをする」や「(インターネットを) 見て回る」という意味です。

◆補足：`search for`で「～を探し求める」という形でよく使われます。`look for`も「～を探す」ですが、`search`の方がより徹底的に、注意深く探すニュアンスが強いです。「家宅搜索令状」は`a search warrant`と言います。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①の「体育館、ジム」です。`gym`は、`gymnasium`という単語の省略形で、二つの主な意味で使われます。一つは、学校などにある「体育館」です。バスケットボールやバレーボールなど、屋内スポーツが行われる場所ですね。もう一つは、トレーニング用の機械などが置かれている、体を鍛え

るための施設「(トレーニング) ジム」です。文脈によってどちらを指すか判断します。他の選択肢は、それぞれ異なる種類の施設を指す単語です。②の「庭園」は 'garden'。③の「競技場」は、陸上競技などを行う、観客席のある屋外の施設で 'stadium' と言います。④の「博物館」は 'museum' です。

◆補足：go to the gym というと、通常は「トレーニングジムへ行く」という意味で使われることが多いです。また、学校の「体育」の授業そのものを 'gym class' と言います。例文: "I try to go to the gym three times a week to stay in shape." (私は体型を維持するために、週に3回ジムに行くようにしています。) "We played basketball in the gym after school." (私たちは放課後、体育館でバスケットボールをした。)

33.

解答 ②

【解説】

正解は②の 'noise' で、「騒音、物音、雑音」を意味します。特に、大きくて不快な、あるいは意味のない音を指すことが多いです。'I was woken up by a loud noise from outside.' (私は外からの大きな物音で目が覚めた)。他の選択肢は、① 'nose' が「鼻」、③ 'notice' が「通知、注目」、④ 'voice' が人の「声」という意味です。'voice' は意味のある音ですが、'noise' はそうでない場合が多いです。

◆補足：形容詞形は 'noisy' (騒々しい、うるさい) です。'My new apartment is in a very noisy area.' (私の新しいアパートはとても騒々しい地域にある)。
'noise' は通常、数えられない名詞として扱いますが、'a strange noise' (奇妙な物音) のように、特定の種類の音を指す場合は数えられる名詞として使われます。'make a noise' (物音を立てる)。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②「シェフ、料理長」です。'chef' は、レストランなどの厨房で責任者として働く、専門的な訓練を受けた料理人を指します。単に料理をする人全般を指す 'cook' とは区別され、'chef' の方がより高い地位と専門性を持つニュアンスがあります。'The restaurant is famous for its creative chef.' (そのレストランは創造的なシェフで有名だ)。
①「料理人」は 'cook'、③「店員」は 'clerk' や 'staff'、④「主人」は 'master' や 'owner' が適切な単語です。

◆補足：'chef' はフランス語に由来し、もともとは 'chief' (長) と同じ語源です。「厨房の長」という意味合いが含まれています。'head chef' (料理長) や 'pastry chef' (パティシエ、製菓長) のように、他の単語と組み合わせて使われることもあります。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の`modern`で、「現代の、近代的な、最新の」という意味の形容詞です。昔ながらのスタイルや考え方とは対照的に、新しい時代の特徴を持つことを示します。`The museum is a perfect example of modern architecture.`（その美術館は現代建築の完璧な一例だ）。他の選択肢は、①`model`が「模型、手本、モデル」、②`modest`が「謙虚な、控えめな」、③`medium`が「中間の、媒体」という意味です。

◆補足：`modern`の対義語は`ancient`（古代の）や`traditional`（伝統的な）です。コロケーションとしては`modern art`（現代美術）、`modern technology`（現代の科学技術）、`modern society`（現代社会）などがあります。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①の`along with`で、「～と一緒に、～に加えて」という意味の前置詞句です。`with`とほぼ同じ意味で使えますが、何かが主なものに付け加わる、というニュアンスをより強調することがあります。`Please submit your resume along with a cover letter.`（カバーレターと一緒に履歴書を提出してください）。他の選択肢は、②`instead of`が「～の代わりに」、③`in spite of`が「～にもかかわらず」、④`according to`が「～によると」という意味です。

◆補足：`along with`は`together with`（～と共に）と意味が非常に近いです。どちらも、複数の人や物が一緒にあること、または行動を共にすることを示します。`I went on a trip along with my family.`（私は家族と一緒に旅行に行った）。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「地震」です。`earthquake`は、`earth`（地球、地面）と`quake`（揺れ）が組み合わさった単語で、文字通り地面が揺れる自然現象を指します。`The building was designed to withstand strong earthquakes.`（その建物は強い地震に耐えられるように設計されている）。①「地球」は`the Earth`、③「地面」は`ground`、④「土」は`soil`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`an earthquake-prone country`で「地震の起こりやすい国」。`an earthquake of magnitude 7`で「マグニチュード7の地震」。`a powerful earthquake`（強力な地震）。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②の`effort`で、「努力、骨折り」を意味する名詞です。目標を達成するために、精神的または肉体的な力を使うことを指します。`Success is not possible without hard effort.`（懸命な努力なしに成功は不可能だ）。他の選択肢は、①`effect`が「効果、影響」、③`offer`が「申し出」や「提供する」という動詞、④`afford`が「～する余裕がある」という動詞です。

◆補足：`make an effort`で「努力する」という決まった言い方になります。`He made every effort to pass the exam.`（彼は試験に合格するためにあらゆる努力をした）。`effort`は数えられる名詞としても、数えられない名詞としても使われますが、`an effort`や`efforts`のように数えられる用法の方が一般的です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の surface です。物の一番外側の部分、つまり「表面」を意味します。水面や地面を指すこともあります。`sur-`（上に）と`face`（顔、面）が合わさった単語だと考えるとイメージしやすいでしょう。①の surprise は「驚き」、③の service は「サービス、奉仕」、④の survey は「調査」という意味です。

◆補足：`on the surface`で「表面上は、うわべは」という副詞句になります。動詞としては「(隠れていたものが) 表面化する、現れる」という意味で使われます。例文: `The surface of the lake was very calm.`（湖の表面はとても穏やかだった）。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「装置、機器」です。`device`は、特定の目的のために作られた「装置、機器、道具」を意味する名詞です。特に、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末のような、比較的小さな電子機器を指す文脈で使われることが増えています。`This new device allows you to control your home appliances remotely.`（この新しい機器を使えば、家電を遠隔操作できます）。①「助言」は`advice`、②「設計」は`design`、③「分割」は`division`が適切な単語です。

◆補足：動詞形は`devise`（ディヴァイズ）で、「～を考案する、工夫する」という意味です。名詞の`device`（デバイス）とは発音もスペルも異なるので注意が必要です。コロケーションとしては、`a mobile device`（携帯端末）、`an electronic device`（電子機器）、`a smart device`（スマートデバイス）などがあります。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④の`a few`です。「少数の、いくつかの～」という意味で、数えられる名詞の複数形と共に使います。ポイントは`a`が付くことで、「少ないながらも、いくつかはある」という肯定的なニュアンスになる点です。`I have a few questions to ask you.`（あなたにいくつか質問があります）。他の選択肢は、①`a little`～が数えられない名詞について「少量の～」と肯定的な意味を表します。一方、`a`がない②`few`～と③`little`～は、「ほとんど～ない」という否定的な意味を表します。

◆補足：`a few`と`few`の違いは非常に重要です。`I have a few friends.`（友達が数人いる）は肯定的な文ですが、`I have few friends.`は「友達がほとんどいない」という孤独で寂しい状況を表します。この`a`の有無による意味の違いは、テストで頻繁に問われるポイントです。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②の`freezing`で、「凍るように寒い、極寒の」という意味の形容詞です。単に`cold`（寒い）と言うよりも、寒さの程度が非常に厳しいことを強調したいときに使います。`I'm freezing! Could you close the window?`（凍えそうだよ！窓を閉めてくれない？）のように使います。他の選択肢は、①`cooling`が「冷却中の」、③`frozen`が「凍った、冷凍された」（水が氷になったり、食品が冷凍されたりした状態）、④`cold`が一般的な「寒い」という意味です。

◆補足：`freezing`は、動詞`freeze`（凍る）の現在分詞が形容詞として使われている形です。`It's freezing cold.`のように、`cold`をさらに強調する形で使われることもあります。`the freezing point`で「氷点」（水が凍る温度、摂氏0度）を意味します。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①の『coupon』です。この単語は、特定の商品やサービスを割引価格で購入したり、無料の特典を受けたりするために使う「クーポン券、割引券」を指します。日本語の「クーポン」と全く同じ意味で使われるので、覚えやすいですね。他の選択肢は、お金の支払いやサービスに関連する別のものです。②の『ticket』は、電車や映画、コンサートなどの「切符、チケット」です。③の『receipt』は、お金を支払ったことの証明となる「レシート、領収書」です。④の『cash』は「現金」を意味します。これらは買い物に関連する基本的な単語なので、しっかり区別できるようにしておきましょう。

◆補足：「クーポンを使う」は "use a coupon" と言います。"discount coupon"（割引クーポン）や "free coupon"（無料クーポン）のように、どのような種類のクーポンかを具体的に示すこともあります。例文: "You can get a 10% discount if you use this coupon."（このクーポンを使えば、10パーセントの割引が受けられます。）

44.

解答 ③

【解説】

正解は③の「現在は、今のところは」です。『currently』は、「今現在」という、まさにその時点での状況や状態を表す副詞です。'now' と非常に近い意味ですが、『currently』の方が少しフォーマルな響きがあり、ニュースや公式な報告などで好んで使われる傾向があります。「現在、～しています」や「現在のところ、～です」といった文脈で活躍します。他の選択肢は、それぞれ全く異なる意味を持つ副詞です。①の「正確に」は 'exactly' や 'accurately'。②の「幸運にも」は 'fortunately' や 'luckily'。④の「頻繁に」は 'frequently' や 'often' です。これらの副詞は、文のニュアンスを決定づける重要な役割を持っているので、それぞれの意味を正確に区別して使えるようにしておきましょう。

◆補足：形容詞の 'current' (現在の) から派生した単語です。"current events" (時事問題) の 'current' ですね。'lately' や 'recently' が「最近」という過去から現在にかけての期間を指すのに対し、'currently' は「今この時点では」という「点」を指すニュアンスが強いです。例文: "The cause of the accident is currently under investigation." (その事故の原因は、現在調査中です。) "He is currently working on a new project." (彼は現在、新しいプロジェクトに取り組んでいます。)

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「～に取って代わる、～を取り替える」です。動詞の 'replace' は、古いものや壊れたものを新しいものと「交換する」ことや、ある人や物が別のものの地位や役割を担う「～に取って代わる」ことを表します。'We replaced the old carpet with a new one.' (私たちは古いカーペットを新しいものと取り替えた)。'Computers have replaced typewriters in most offices.' (コンピュータがほとんどのオフィスでタイプライターに取って代わった)。①「～を置く」は 'place'、②「～を繰り返す」は 'repeat'、④「～に返事をする」は 'reply' です。

◆補足：'replace A with B' で「A を B と取り替える」という構文を覚えておきましょう。名詞形は 'replacement' (交換、後任者) です。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「10 億」です。'billion' は、1,000,000,000 を示す数の単位です。世界の人口や巨大企業の収益など、非常に大きな数を表す際に使われます。'The world's population is expected to reach 10 billion by 2050.' (世界の人口は 2050 年までに 100 億人に達すると予想されている)。①「100 万」は 'million'、②「1 兆」は 'trillion'、④「多数」は 'multitude' や 'a large number' で表します。

◆補足：英語の大きな数の単位は、`thousand`（千）、`million`（百万）、`billion`（十億）、`trillion`（兆）と、1,000 倍（ゼロ 3 つ）ごとに単位が変わるのが特徴です。数字のコンマ（,）の位置と単位が連動していると覚えると便利です。`a billionaire`で「(10 億以上の資産を持つ) 大富豪、億万長者」を意味します。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①の『thief』です。この単語は、他人のお金や物を、特にこっそりと盗む人、「泥棒」や「空き巣」を指す最も一般的な名詞です。他の選択肢は、犯罪に関連する別々の立場の人々を指します。②の『police』は、犯罪を取り締まり、社会の安全を守る「警察」です。③の『judge』は、法廷で判決を下す「裁判官」。④の『victim』は、犯罪や事故などの「被害者、犠牲者」です。このように、一つの事件にも様々な役割の人が関わっていることが分かりますね。これらの単語は、ニュースやミステリー小説などで頻繁に登場します。

◆補足：『thief』の複数形は、"f" を "v" に変えて "es" を付ける "thieves" となります。この不規則な複数形の作り方は、'leaf'→'leaves' や 'wolf'→'wolves' などと同じパターンなので、併せて覚えておきましょう。動詞の「盗む」は 'steal'、名詞の「窃盗」は 'theft' となります。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に追いつく」です。`catch up with ～`は、先行している人や物に追いつくことや、勉強や仕事などの遅れを取り戻すことを意味する句動詞です。`If you run, you can catch up with them.`（走れば、彼らに追いつけるよ）。`I was sick last week, so I have to catch up with my studies.`（先週病気だったので、勉強の遅れを取り戻さなければならない）。①「～と仲良くやる」は`get along with ～`、③「～を我慢する」は`put up with ～`、④「～を思いつく」は`come up with ～`が適切な表現です。

◆補足：友人としばらく会っていなかった後で「近況を話し合う」という意味でも`catch up`はよく使われます。`Let's meet for lunch and catch up.`（ランチでもして近況を報告し合おうよ）。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「追加の、余分の」です。`extra`は形容詞として、通常必要とされる量や数に加えて、さらに余分にあることを示します。`You will need to pay an extra charge for that service.`（そのサービスに

は追加料金を支払う必要があります)。②「外国の」は`foreign`、③「正確な」は`exact`、④「極端な」は`extreme`が適切な単語です。

◆補足：`extra`は副詞として「追加で、割り増しで」、名詞として「追加料金、エキストラ（臨時出演者）」という意味でも使われます。`I had to work extra hours this week.`（今週は残業しなければならなかった）。`extra-large`（特大の）のように、接頭辞として使われることもあります。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②の『doubt』です。この単語は、何かについて「～は本当ではないのではないか、真実ではないかもしれない」と確信が持てない気持ち、つまり「～を疑う」という意味を表す動詞です。誰かの話を聞いて、その内容に疑問を感じるような状況で使われます。他の選択肢は、似ているようで意味が異なる重要な単語です。①の『trust』は、人や組織の誠実さや能力などを「信用する、信頼する」という意味です。④の『believe』は、話の内容や考えが「真実だと信じる」という意味で、『doubt』の直接的な対義語と言えます。③の『guess』は、確かな根拠がないまま「～だと推測する」という意味で、「たぶんだろう」と考えることであり、「本当ではないかも」と考える『doubt』とは異なります。これらの心の動きを表す動詞の違いを理解することは、感情や意見を正確に表現するためにも大切です。

◆補足：『doubt』は名詞として「疑い」という意味でも使われます。その際、"There is no doubt that ..." の形で「…であることは疑いようがない、間違いなく…だ」という非常に強い確信を表す構文は、英作文などでも役立つのでぜひ覚えておきましょう。動詞として使う場合、"I doubt that he will come on time." は「彼が時間通りに来るとは思えない（＝来ないだろう）」というように、否定的な予測を表すことが多いです。
